2026年11月12日

各　位

会　社　名　アルー株式会社
代表者名　代表取締役社長　落合文四郎
（コード番号：7043 東証グロース）
問合せ先　取締役 執行役員 コーポレート管掌　稲村大悟
（TEL. 03-6268-9791）

通期業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の状況を踏まえ2026年２月13日に公表した2026年12月期(2026年１月１日～2026年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

１．当期の連結業績予想数値の修正(2026年１月１日～2026年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	3,934	409	402	247	96.97
今回修正予想（Ｂ）	3,934	523	524	283	111.26
増減額（Ｂ－Ａ）	0	114	121	35	
増減率（％）	0.0%	27.9%	30.2%	14.5%	
(参考)前期連結実績(2025年12月期)	3,637	354	356	242	95.12

２．修正の理由

法人向け教育研修において、当社の強みである新人領域での納品が好調に推移し、大型案件受注なども追い風となり法人向け教育研修の売上高が増加したことに加え、前期に当社グループに加わった孫会社のQUINTEGRAL PHILIPPINES, INC.の業績が好調に推移いたしました。一方で、etudesにおいては大型案件の終了及び新規顧客獲得が想定通り進まなかったことに起因し、売上高が計画を下回る見込みとなったため、連結売上高の予想数値の変更はありません。

利益面においては、前述のとおり法人向け教育研修及びQUINTEGRAL PHILIPPINES, INC.の売上高が好調に推移した一方、売上原価を大きく占める外注講師費率が当初想定よりも低く抑えられたことにより、売上総利益が当初想定より増加いたしました。

販売費及び一般管理費においては、これまで取り組んできたコスト削減の効果が継続して得られていることに加え、事業成長に対する投資が下期以降に偏重したこと、並びに艾陆企业管理咨询（上海）有限公司の清算決定により、中国子会社コストが削減されたことで販売費及び一般管理費が計画よりも低く推移し営業利益や経常利益が大きく前回予想を上回る見込みとなりました。また、中国子会社の清算による一時コスト等が発生し特別損失を計上したものの親会社株主に帰属する当期純利益についても前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上のことから、2026年12月期の修正後の連結通期業績予想につきましては、連結売上高3,934百万円、営業利益523百万円、経常利益524百万円、親会社株主に帰属する当期純利益283百万円とさせていただきます。

以　上